

(様式第9)

国がん発第  
平成19年1

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立がんセンター中央病  
国立がんセンター中央病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成19年度の業務に関して報告します。

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	181人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	119人	101.3人	220.3人	看護業務補助	18人	診療エックス線技師	人
歯科医師	1人	人	1.0人	理学療法士	1人	臨床検査技師	44人
薬剤師	15人	10.5人	25.5人	作業療法士	人	衛生検査技師	人
保健師	人	人	人	視能訓練士	1人	その他	人
助産師	人	人	人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	1人
看護師	437人	5.2人	442.2人	臨床工学技士	1人	医療社会事業従事者	5人
准看護師	人	人	人	栄養士	人	その他の技術員	8人
歯科衛生士	人	0.7人	0.7人	歯科技工士	人	事務職員	67人
管理栄養士	3人	2.2人	5.2人	診療放射線技師	35人	その他の職員	21人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	544.3人	人	544.3人
1日当たり平均外来患者数	997.0人	4.8人	1001.8人
1日当たり平均調剤数	5,258 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

## 1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・人工中耳	有・ <input type="radio"/> 無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・ <input type="radio"/> 無	人
・性腺機能不全の早期診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input type="radio"/> 無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・マス・スペクトロメリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・画像支援ナビゲーション手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・成長障害のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	23人
・鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・カフェイン併用化学療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・脾腫瘍に対する腹腔鏡補助下脾切除術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・抗がん剤感受性試験(CD-DST法)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・頰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・活性化血小板の検出	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・末梢血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類(歯科)	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	有・ <input type="radio"/> 無	人
・顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・ <input type="radio"/> 無	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・レーザー応用による齶蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	有・ <input type="radio"/> 無	人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
インプラント義歯	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工中耳	有・ <input type="radio"/> 無	人
歯周組織再生誘導法	有・ <input type="radio"/> 無	人
抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
活性化血小板の検出	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
眼底三次元画像解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	人	・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	人
・多発性硬化症	人	・ウェゲナー肉芽腫症	人
・重症筋無力症	3人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	人
・全身性エリテマトーデス	3人	・多系統萎縮症	人
・スモン	人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	人
・再生不良性貧血	人	・膿疱性乾癬	人
・サルコイドーシス	7人	・広範脊柱管狭窄症	人
・筋萎縮性側索硬化症	人	・原発性胆汁性肝硬変	2人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	3人	・重症急性膵炎	1人
・特発性血小板減少性紫斑病	2人	・特発性大腿骨頭壊死症	人
・結節性動脈周囲炎	人	・混合性結合組織病	人
・潰瘍性大腸炎	5人	・原発性免疫不全症候群	人
・大動脈炎症候群	人	・特発性間質性肺炎	1人
・ビュルガー病	人	・網膜色素変性症	人
・天疱瘡	人	・プリオン病	人
・脊髄小脳変性症	2人	・原発性肺高血圧症	人
・クローン病	1人	・神経線維腫症	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	人	・亜急性硬化性全脳炎	人
・悪性関節リウマチ	人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	人
・パーキンソン病関連疾患	4人	・特発性慢性肺血拴塞栓症(肺高血圧型)	人
・アミロイドーシス	1人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	人
・後縦靭帯骨化症	人	・副腎白質ジストロフィー	人
・ハンチントン病	人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	11回/週	
剖検の状況	剖検症例数 43 例	剖検率 10.7 %

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
がん情報ネットワークを利用した総合的がん対策支援の具体的方法に関する研究	若尾文彦	国立がんセンター 中央病院	22,700	(補) 厚生労働省 委 がん研究助成金
主要がんの全国登録に基づく患者情報の解析と活用に関する研究	浅村尚生	国立がんセンター 中央病院	21,001	(補) 厚生労働省 委 がん研究助成金
発がん機序に基づいた胃がんの予防に関する研究	斉藤大三	国立がんセンター 中央病院	11,000	(補) 厚生労働省 委 がん研究助成金
がん患者に対する周術期及び各種治療前後における集中治療の確立に関する研究	本田完	国立がんセンター 中央病院	12,100	(補) 厚生労働省 委 がん研究助成金
がん患者に対する支持療法および緩和療法の技術の向上に関する研究	下山直人	国立がんセンター 中央病院	15,000	(補) 厚生労働省 委 がん研究助成金
各種がん免疫療法の開発と臨床的有効性の評価に関する研究	若杉尋	国立がんセンター 中央病院	11,000	(補) 厚生労働省 委 がん研究助成金
低線量CTによる肺がん検診の効率化とその基準の作成に関する研究	土田敬明	国立がんセンター 中央病院	12,000	(補) 厚生労働省 委 がん研究助成金
胃がんに対するリンパ節郭清を伴う腹腔鏡下手術と開腹手術との比較に関する研究	片井均	国立がんセンター 中央病院	11,000	(補) 厚生労働省 委 がん研究助成金
放射線治療期間の短縮に関する多施設共同臨床試験の確立に関する研究	加賀美芳和	国立がんセンター 中央病院	12,000	(補) 厚生労働省 委 がん研究助成金
大腸がん肝転移の予知ならびに予防的治療に関する研究	藤田伸	国立がんセンター 中央病院	11,000	(補) 厚生労働省 委 がん研究助成金
Stage I 食道がんに対する放射線・抗がん剤併用と手術単独療法の有効性の比較	井垣弘康	国立がんセンター 中央病院	11,307	(補) 厚生労働省 委 がん研究助成金
肛門に極めて近い下部直腸がん、肛門管がん症例に対する肛門機能を温存した新しい手術療法の開発	森谷亘皓	国立がんセンター 中央病院	11,000	(補) 厚生労働省 委 がん研究助成金
バレット食道の発生ならびに食道下部腺癌の病理学的特性に関する研究	下田忠和	国立がんセンター 中央病院	11,000	(補) 厚生労働省 委 がん研究助成金
希少悪性腫瘍に対する標準的治療のための多施設共同研究	渋井壮一郎	国立がんセンター 中央病院	30,000	(補) 厚生労働省 委 がん研究助成金
難治がんの総合的な対策に関する研究	土屋了介	国立がんセンター 中央病院	167,756	(補) 厚生労働省 委 がん研究助成金
効果的ながん情報提供システムに関する研究	若尾文彦	国立がんセンター 中央病院	62,360	(補) 厚生労働省 委 科学研究費
新しい診断機器の検診への応用とこれらを用いた診断精度の向上に関する新しい研究	斉藤大三	国立がんセンター 中央病院	70,200	(補) 厚生労働省 委 科学研究費
希少がん(悪性脳腫瘍)の個別適正化治療のためのTRI(Translational Research Informatics)システムの構築	成田善孝	国立がんセンター 中央病院	70,200	(補) 厚生労働省 委 科学研究費
地域がん診療拠点病院の機能向上に関する研究	池田恢	国立がんセンター 中央病院	56,424	(補) 厚生労働省 委 科学研究費
効果的かつ効率的ながん専門医の育成方法に関する研究	大江裕一郎	国立がんセンター 中央病院	28,900	(補) 厚生労働省 委 科学研究費
局所限局小細胞肺がんの集学的治療に関する研究	田村友秀	国立がんセンター 中央病院	45,400	(補) 厚生労働省 委 科学研究費
高度進行胃がんの治療に関する研究	笹子三津留	国立がんセンター 中央病院	27,000	(補) 厚生労働省 委 科学研究費
膵がんに対する補助化学療法に関する研究	小菅智男	国立がんセンター 中央病院	24,500	(補) 厚生労働省 委 科学研究費

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
切除不能膵がんに対する治療法の確立に関する研究	奥坂 拓志	国立がんセンター 中央病院	23,750	①補 委 厚生労働省 科学研究費
再発高危険群の大腸がんに対する術後補助化学療法に関する研究	森谷 亘皓	国立がんセンター 中央病院	51,336	①補 委 厚生労働省 科学研究費
消化管悪性腫瘍に対するリンパ節郭清に関する研究	佐野 武	国立がんセンター 中央病院	30,000	①補 委 厚生労働省 科学研究費
難治性悪性リンパ腫の治療に関する研究	飛内 賢正	国立がんセンター 中央病院	48,792	①補 委 厚生労働省 科学研究費
悪性脳腫瘍の標準的治療法の確立に関する研究	渋井 壮一郎	国立がんセンター 中央病院	28,500	①補 委 厚生労働省 科学研究費
がんの腹膜播種に対する標準的治療法の確立に関する研究	白尾 国昭	国立がんセンター 中央病院	38,000	①補 委 厚生労働省 科学研究費
臨床病期Ⅲの下部直腸がんに対する側方リンパ節郭清術に関する研究	藤田 伸	国立がんセンター 中央病院	38,000	①補 委 厚生労働省 科学研究費
悪性胸膜中皮種の病態把握と診断法、治療法の確立に関する研究	土屋 了介	国立がんセンター 中央病院	39,000	①補 委 厚生労働省 科学研究費
HER2過剰発現を有する乳がんに対する術前Trastuzumab化学療法のランダム化第Ⅱ相比較試験	安藤 正志	国立がんセンター 中央病院	20,000	①補 委 厚生労働省 科学研究費
緩和ケアのガイドライン作成に関するシステム構築に関する研究	下山 直人	国立がんセンター 中央病院	12,000	①補 委 厚生労働省 科学研究費
				補 委

計 33

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。



2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨床薬理	わが国の婦人科がんにおける研究者主導臨床研究の現状	勝俣範之	01 腫瘍学総論
日本臨床細胞学会雑誌	原発性肺腺癌特異的マーカーの免疫細胞化学的検討 — Surfactant apoprotein A, Napsin A, Thyroid transcription factor-1 —	澁木康雄	03 病理
日本臨床細胞学会雑誌	悪性腺腫病理診断の現状と診断基準一致の試み	津田均	03 病理
肺癌	肺神経内分泌腫瘍の臨床病理	松野吉宏	03 病理
肝と膵	進行胆嚢癌手術における肝外胆管切除の意義 — 胆管浸潤のない場合 —	阪本良弘	05 外科術式
臨床外科	膵頭十二指腸切除後の膵液漏対策	阪本良弘	05 外科術式
内科	特集 内科疾患最新の治療— 専門家からのアドバイス — II. 消化器 原発性肝癌	高安賢一	07 放射線診断 ・画像診断
癌の臨床	特集 PCSによるわが国の放射線治療の現状 とEBM 2.PCS, JNCDBの技術開発	沼崎徳高	08 放射線治療 ・温熱療法
癌の臨床	特集 PCSによるわが国の放射線治療の現状 とEBM 4. 非手術症例の診療過程と放射線治療	角美奈子	08 放射線治療 ・温熱療法
消化器の臨床	EMR vs ESD— 術前診断と選択の実際	鈴木晴久	09 内視鏡診断 ・治療
消化器内視鏡	早期胃癌に対するESD後の長期経過	小田一郎	09 内視鏡診断 ・治療
消化器内視鏡	1,000 μ mを読む 拡大観察による早期大腸癌の深達度診断	松田尚久	09 内視鏡診断 ・治療
消化器内視鏡	Total Colonoscopy (挿入のコツ) — 硬いスコープ (軸保持短縮法)	斉藤豊	09 内視鏡診断 ・治療
胃と腸	早期胃癌ESD後の長期経過の検討	池原久朝	09 内視鏡診断 ・治療
消化器内視鏡	大型病変ESDのコツ	池原久朝	09 内視鏡診断 ・治療
臨床消化器内科	ESD習得のためのトレーニング (1) ESDトレーニングの基本的コンセプト	西元史哉	09 内視鏡診断 ・治療
消化器内視鏡	大腸病変はすべて計画的分割切除で対応可能か	松田尚久	09 内視鏡診断 ・治療
胃と腸	早期胃癌に対する内視鏡的切除の適応拡大 未分化型腺癌について	滝沢耕平	09 内視鏡診断 ・治療
早期大腸癌	VI型pit patternにおける不整の程度と浸潤度 (1) 内視鏡治療の立場から	松田尚久	09 内視鏡診断 ・治療
早期大腸癌	大腸ESDのコツとピットフォール 胃と大腸の違いを含めて (6) ITナイフ, Bナイフ— CO2送気も含めて	斉藤豊	09 内視鏡診断 ・治療
大腸疾患の内視鏡診断と治療	5. 非上皮性腫瘍 a. 腸管悪性リンパ腫の肉眼像と治療	角川康夫	09 内視鏡診断 ・治療

小計21

消化器内視鏡	胃病変:色素内視鏡活用の基本	神津隆弘	09 内視鏡診断・治療
消化器科	大腸良性腫瘍性病変の治療とサーベイランスの標準化	松田尚久	09 内視鏡診断・治療
胃と腸	早期胃癌に対するESDの治療成績 適応拡大の可能性	小田一郎	09 内視鏡診断・治療
血液・腫瘍科	固形がん治療における抗VEGF抗体bevacizumabの将来性	江口貴子	11 化学療法
JPN J Cancer Chemother	S-1投与時の血中5-FUおよびその代謝産物 F-β-Alanineの薬物動態	山田康秀	11 化学療法
JPN J Cancer Chemother	S-1のPharmacokinetics	平田公一	11 化学療法
JPN J Cancer Chemother	結腸・直腸癌に対するS-1単剤療法の意義	江口貴子	11 化学療法
癌と化学療法	転移・再発結腸・直腸癌患者を対象とした 5-FU/l-LeucovorinとIrinotecan併用療法 (FOLFIRI療法)	植村則久	11 化学療法
血液・腫瘍科	大腸がんに対する抗体療法の最近の進歩	加藤健	11 化学療法
外科治療	大腸癌の化学療法	高張大亮	11 化学療法
成人病と生活習慣病	悪性腫瘍とうつ病	清水研	14 末期癌・緩和ケア
日本臨床	MD-CTの有用性	明石定子	18 乳腺
肺癌	肺癌に対する根治手術ー肺葉切除とリンパ節郭清ー	渡辺俊一	19 肺・縦隔
MOOK 肺癌の臨床	肺癌に対する肺門, 縦隔リンパ節郭清の意義	浅村尚生	19 肺・縦隔
胸部外科	2.胸腔鏡を用いない肺癌の低侵襲手術 1)最近の開胸下での肺癌手術 ー胸腔鏡下肺癌手術の問題点を含めて	浅村尚生	19 肺・縦隔
日外会誌	標準開胸下の肺癌手術:肺血管の処理に用いる基本手技	浅村尚生	19 肺・縦隔
最新医学	大細胞神経内分泌癌の治療戦略ー病理病態からみた考察ー	浅村尚生	19 肺・縦隔
日本胸部臨床	小細胞癌の治療 a. 肺小細胞癌に対する外科治療	鈴木健司	19 肺・縦隔
消化器科	食道sm癌の治療方針とその根拠	江口貴子	20 食道
外科	胃癌 2. Conventional operation	阪真	21 胃
消化器外科	開胸・開腹下手術における器械吻合の実際のポイント 胃手術	片井均	21 胃
臨床消化器外科	胃癌のハイリスク病変の取り扱い	神津隆弘	21 胃

The GI FOREFRONT	H. pylori除菌による胃癌予防の可能性	斉藤大三	21 胃
癌と化学療法	S-1胃癌術後補助化学療法比較試験(ACTS-GC)	笹子三津留	21 胃
Biotherapy	胃癌腹腔細胞診における複数マーカーを用いたPCR法の適用	森和彦	21 胃
手術	胃癌手術ここ30年の変遷	笹子三津留	21 胃
がん看護	治療方針の決定に必要な検査と臨床病期診断	片井均	21 胃
がん看護	がん治療を自分で選ぶのに必要な情報	笹子三津留	21 胃
胃と腸	家族性大腸腺腫症に伴う胃底腺ポリポースの腫瘍化により生じた進行胃癌の1例	滝沢耕平	21 胃
胃と腸	早期胃癌に対するESDと腹腔鏡下手術の接点	片井均	21 胃
Helicobacter Research	Helicobacter pylori 除菌による胃粘膜萎縮の発生および進展の予防に関する研究(JITHP)	斉藤大三	21 胃
がん看護	胃がん～最新の治療と看護(1)～セカンドオピニオンのすすめ	阪眞	21 胃
外科	特集 胃癌の外科－最近の諸問題 10.胃食道接合部癌の治療戦略	吉川貴己	21 胃
Colitic cancer	サーベイランス内視鏡にて発見されたLSTに類似したcolitic cancerの1例	鈴木晴久	22 結腸・直腸
医学の歩み	Cetuximabを用いた大腸癌に対する抗体療法	高張大亮	22 結腸・直腸
消化器科	進行・再発大腸癌に対する標準治療の限界と本邦における開発状況	横井千寿	22 結腸・直腸
日本臨床	膵癌・胆道癌の診断と治療－最新の研究動向 － A.膵癌 VII.膵癌の治療 膵癌の外科治療	小菅智男	23 肝・胆・膵
日本臨床	胆道癌症例と緩和医療	池田公史	23 肝・胆・膵
消化器科	進行膵癌の予後改善を目指す治療戦略	上野秀樹	23 肝・胆・膵
がん分子標的治療	ゲムシタピンの薬理ゲノム学 －シチジンデアミナーゼの遺伝子多型	上野秀樹	23 肝・胆・膵
コンセンサス癌治療	切除不能膵癌の治療	上野秀樹	23 肝・胆・膵
	膵癌治療における経口フッ化ピリミジンの役割 －現状と今後の展望－	上野秀樹	23 肝・胆・膵
日本臨床	胆道癌の診断 腫瘍マーカーによる診断	名嶋弥菜	23 肝・胆・膵
日本臨床	胆道癌症例と緩和医療	池田公史	23 肝・胆・膵

消化器画像	浸潤性膵管癌術後5年生存例の臨床像 —国立がんセンター中央病院	阪本良弘	23 肝・胆・膵
癌と化学療法	遠隔転移を有する進行膵癌に対して、 S-1単剤療法が奏効した2例	池田公史	23 肝・胆・膵
消化器科	肝外転移を有する肝細胞癌に対する FMP療法の治療成績と効果	池田公史	23 肝・胆・膵
血液・腫瘍科	切除不能膵がんの化学療法の現状と今後の課題	上野秀樹	23 肝・胆・膵
臨床腫瘍プラクティス	腫瘍マーカーの限界は	池田公史	23 肝・胆・膵
medicina	肝細胞癌	池田公史	23 肝・胆・膵
medicina	消化器疾患 肝細胞癌	池田公史	23 肝・胆・膵
内科	濾胞性リンパ腫患者に対する初期治療としての 131I-tositumomab(Bexxar)によるradioimmunotherapy	渡辺隆	25 血液・造血器
がん分子標的治療	抗体を用いた分子標的治療	飛内賢正	25 血液・造血器
Biotherapy	悪性リンパ腫の抗体療法	飛内賢正	25 血液・造血器
血液・腫瘍科	ホジキンリンパ腫	渡辺隆	25 血液・造血器
総合臨床	抗体を用いた分子標的療法	飛内賢正	25 血液・造血器
Medicina	血液腫瘍の治療法 免疫療法	渡辺隆	25 血液・造血器
血液・腫瘍科	B細胞リンパ腫に対するradioimmunotherapy(RIT)の最近の進展	渡辺隆	25 血液・造血器
医学のあゆみ	放射性同位元素を用いたCD20抗体療法 —Radioimmunotherapy(RIT)	渡辺隆	25 血液・造血器
日本医師会雑誌	尿路移行上皮がんの多発性に関する生物学的特性の解析に もとづく、膀胱全摘除術後も尿道から自然排尿可能な手術法の 開発	垣添忠生	26 泌尿器
産婦人科の世界	子宮体癌の手術療法の縮小はどこまで可能か	笠松高弘	27 婦人科
産科と婦人科	悪性腫瘍治療に関連する合併症に際して 1)化学療法	土井美帆子	27 婦人科
日獨医報	婦人科手術前に望まれる画像診断 2-1. 自律神経温存広汎子宮全摘術	加藤友康	27 婦人科
産婦人科の世界	緩和ケア—緩和ケアチームと早期に 連携する婦人科がん患者の管理	笠松高弘	27 婦人科
脊椎脊髄	仙骨原発性悪性骨腫瘍:脊索腫以外	川井章	28 整形外科
小児がん	Positron Emission Tomography (PET) を 利用した小児固形腫瘍の診断・治療戦略	細野亜古	30 小児科

Helicobacter Research	最新文献紹介 Meta-analysis: role of Helicobacter pylori eradication in the prevention of peptic ulcer in NSAID users など	鈴木晴久	31 その他
レジデントノート	各科で役立つ輸血の基本〜どう考えて、どう使いますか？ 腸閉塞の輸血	阪眞	31 その他
J Cell Sci	A novel function of OLIG2 to suppress human glial tumor cell growth via p27Kip1 transactivation	Tabu K	02 Basic Research
Cancer Sci	High sensitivity detection of epidermal growth factor receptor mutations in the pleural effusion of non-small cell lung cancer patients	Kimura H	02 Basic Research
Clin Cancer Res	Detection of epidermal growth factor receptor mutations in serum as a predictor of the response to gefitinib in patients with non-small-cell lung cancer	Kimura H	02 Basic Research
Biochem J	In-frame deletion in the EGF receptor alters kinase inhibition by gefitinib	Sakai K	02 Basic Research
Cancer Sci	Epstein-Barr virus involvement is a predictive factor for the resistance to chemoradiotherapy of gastric diffuse large B-cell lymphoma	Yoshino T	03 Pathology
Hum Pathol	Cyclooxygenase-2 overexpression associated with a poor prognosis in chondrosarcomas	Endo M	03 Pathology
Lung Cancer	Histologic prognostic factors for small-sized squamous cell carcinomas of the peripheral lung	Maeshima AM	03 Pathology
Immunohistochem Mol Mo	Interobserver variability in histologic recognition, interpretation of KIT immunostaining, and determining MIB-1 labeling indices in gastrointestinal stromal tumors and other spindle cell tumors of the gastrointestinal tract	Yamaguchi U	03 Pathology
Oncogene	Identification of tumor markers and differentiation markers for molecular diagnosis of lung adenocarcinoma	Nakamura N	03 Pathology
Pathol Res Pract	Correlation of p53 and MIB-1 expression with both the systemic recurrence and survival in cases of phyllodes tumors of the breast	Yonemori K	03 Pathology
Am J Clin Pathol	Detection of EGFR mutations in archived cytologic specimens of non-small cell lung cancer using high-resolution melting analysis	Nomoto K	03 Pathology
Int J Cancer	Frequent EGFR mutations in brain metastases of lung adenocarcinoma	Matsumoto S	03 Pathology
Pathol Int	Usefulness of Ki-67 for predicting the metastatic potential of rectal carcinoids	Hotta K	03 Pathology
Am J Surg Pathol	Solitary capillary hemangioma of the lung: report of 2 resected cases detected by high-resolution CT	Fugo K	03 Pathology
Gut	Why does Japan have a high incidence of gastric cancer? Comparison of gastritis between UK and Japanese patients	Naylor GM	03 Pathology
Immunohistochem Mol Mo	Interobserver variability in histologic recognition, interpretation of KIT immunostaining, and determining MIB-1 labeling indices in gastrointestinal stromal tumors and other spindle cell tumors of the gastrointestinal tract	Yamaguchi U	03 Pathology
Cancer	Cytopathologic factors can predict invasion in small-sized peripheral lung adenocarcinoma with a bronchioloalveolar carcinoma component	Maezawa N	03 Pathology
Langenbecks Arch Surg	Clinical significance of reconstruction of the right hepatic artery for biliary malignancy	Sakamoto Y	05 Surgical Procedures
Br J Surg	Randomized clinical trial of hepatectomy using intermittent pedicle occlusion with ischaemic intervals of 15 versus 30 minutes	Esaki M	05 Surgical Procedures
J Surg Oncol	Clinical significance of extrahepatic bile duct resection for advanced gallbladder cancer	Sakamoto Y	05 Surgical Procedures

J Gastroenterol Hepatol	Multiple non-tumorous arterioportal shunts due to chronic liver disease mimicking hepatocellular carcinoma: outcomes and the associated elevation of alpha-fetoprotein	Takayasu K	07 Diagnostic Radiology and Therapy
Respirology	Diffuse large B-cell lymphoma presenting as a unilateral solitary round pulmonary hilar node infarction	Yonemori K	07 Diagnostic Radiology and Therapy
Dig Dis Sci	Primary hepatocellular carcinoma detected long after tumor markers and lymph node metastases—beyond our vision?	Huang JF	07 Diagnostic Radiology and Therapy
AJR Am J Roentgenol	CT Evaluation of the progression of hypoattenuating nodular lesions in virus-related chronic liver disease	Takayasu K	07 Diagnostic Radiology and Therapy
Anticancer Res	Evaluation of acute intestinal toxicity in relation to the volume of irradiated small bowel in patients treated with concurrent weekly gemcitabine and radiotherapy for locally advanced pancreatic cancer	Ito Y	08 Radiotherapy and Hyperthermia
Gastrointest Endosc	Complete endoscopic closure of gastric perforation induced by endoscopic resection of early gastric cancer using endoclips can prevent surgery (with video)	Minami S	09 Endoscopic Diagnosis and Therapy
Gut	Endoscopic evaluation for cytomegalovirus enterocolitis after allogeneic haematopoietic stem cell transplantation	Kakugawa Y	09 Endoscopic Diagnosis and Therapy
Curr Opin Gastroenterol	Endoscopic resection of early gastric cancer: the Japanese perspective	Gotoda T	09 Endoscopic Diagnosis and Therapy
Gastrointest Endosc	Endoscopic submucosal dissection allows curative resection of locally recurrent early gastric cancer after prior endoscopic mucosal resection	Yokoi C	09 Endoscopic Diagnosis and Therapy
Digestive Endoscopy	Early Detection of Hypopharyngeal Cancer by Narrow-Band Imaging	Kozu T	09 Endoscopic Diagnosis and Therapy
Gut	Why does Japan have a high incidence of gastric cancer? Comparison of gastritis between UK and Japanese patients	Naylor GM	09 Endoscopic Diagnosis and Therapy
J Gastroenterol	Endoscopic submucosal dissection of early gastric cancer	Gotoda T	09 Endoscopic Diagnosis and Therapy
Endoscopy	An Inverted Hyperplastic Polyp with a Characteristic Colonoscopic Appearance	Fu KI	09 Endoscopic Diagnosis and Therapy
Endoscopy	Iatrogenic perforation at therapeutic colonoscopy: should the endoscopist attempt closure using endoclips or transfer immediately to surgery	Taku K	09 Endoscopic Diagnosis and Therapy
World J Gastroenterol	Primary signet-ring cell carcinoma of the colon at early stage: a case report and a review of the literature	Fu KI	09 Endoscopic Diagnosis and Therapy
Gut	Endoscopic indications for endoscopic mucosal resection of laterally spreading tumours in the colorectum	Uraoka T	09 Endoscopic Diagnosis and Therapy
Endoscopy	A newly developed bipolar-current needle-knife for endoscopic submucosal dissection of large colorectal tumors	Sano Y	09 Endoscopic Diagnosis and Therapy
Gastric Cancer	A multicenter retrospective study of endoscopic resection for early gastric cancer	Oda I	09 Endoscopic Diagnosis and Therapy
Jpn J Clin Oncol	Phase I/II study of oxaliplatin with weekly bolus fluorouracil and high-dose leucovorin (ROX) as first-line therapy for patients with colorectal cancer	Yamada Y	11 Chemotherapy
Jpn J Clin Oncol	Treatment strategy for locally recurrent rectal cancer	Moriya Y	11 Chemotherapy
Cancer Chemother Pharmacol	Phase I and pharmacokinetic study of edotecarin, a novel topoisomerase I inhibitor, administered once every 3 weeks in patients with solid tumors	Yamada Y	11 Chemotherapy
Jpn J Clin Oncol	Phase I study of single-dose oxaliplatin in Japanese patients with malignant tumors	Shirao K	11 Chemotherapy

Ann Oncol	Phase II study of combination therapy with S-1 and irinotecan in patients with advanced colorectal cancer	Goto A	11 Chemotherapy
Jpn J Clin Oncol	A phase II Study of the global dose and schedule of capecitabine in Japanese patients with metastatic colorectal cancer	Hyodo I	11 Chemotherapy
J Clin Oncol	Pharmacodynamic studies of gefitinib in tumor biopsy specimens from patients with advanced gastric carcinoma	Rojo F	11 Chemotherapy
Journal of Thoracic Oncology	A Phase I Dose-Escalation Study of ZD6474 in Japanese Patients with Solid, Malignant Tumors	Tamura T	11 Chemotherapy
Cancer Chemother Pharmacol	Phase I and pharmacokinetic study of edotecarin, a novel topoisomerase I inhibitor, administered once every 3 weeks in patients with solid tumors	Yamada Y	13 Clinical Trials
Jpn J Clin Oncol	Phase I clinical study of pegylated liposomal doxorubicin (JNS002) in Japanese patients with solid tumors	Fujisaka Y	13 Clinical Trials
Cancer	Ipsilateral breast tumor recurrence (IBTR) after breast-conserving treatment for early breast cancer: risk factors and impact on distant metastases	Komoike Y	18 Breast
Breast Cancer Res Treat	Prediction of response to repeat utilization of anthracycline in recurrent breast cancer patients previously administered anthracycline-containing chemotherapeutic regimens as neoadjuvant or adjuvant chemotherapy	Yonemori K	18 Breast
J Clin Oncol	Neuroendocrine neoplasms of the lung: a prognostic spectrum	Asamura H	19 Lung and Mediastinum
Journal of Thoracic Oncology	A Literature Review of Molecular Markers Predictive of Clinical Response to Cytotoxic Chemotherapy in Patients with Lung Cancer	Sekine I	19 Lung and Mediastinum
Semin Oncol	Geographic variation in the second-line treatment of non-small cell lung cancer	Edelman MJ	19 Lung and Mediastinum
Cancer Sci	High sensitivity detection of epidermal growth factor receptor mutations in the pleural effusion of non-small cell lung cancer patients	Kimura H	19 Lung and Mediastinum
Nat Clin Pract Oncol	Small-cell lung cancer with lymphadenopathy in an 18-year-old female nonsmoker	Yonemori K	19 Lung and Mediastinum
Lung Cancer	Common arm analysis: one approach to develop the basis for global standardization in clinical trials of non-small cell lung cancer	Sekine I	19 Lung and Mediastinum
Journal of Thoracic Oncology	Knowledge of Efficacy of Treatments in Lung Cancer Is Not Enough, Their Clinical Effectiveness Should Also Be Known	Sekine I	19 Lung and Mediastinum
Radiother Oncol	Retrospective analysis of steroid therapy for radiation-induced lung injury in lung cancer patients	Sekine I	19 Lung and Mediastinum
Clin Radiol	Diagnostic accuracy of CT-guided percutaneous cutting needle biopsy for thymic tumours	Yonemori K	19 Lung and Mediastinum
J Thorac Cardiovasc Surg	How should the TNM staging system for lung cancer be revised? A simulation based on the Japanese Lung Cancer Registry populations	Asamura H	19 Lung and Mediastinum
Journal of Thoracic Oncology	Docetaxal Consolidation Therapy Following Cisplatin, Vinorelbine, and Concurrent Thoracic Radiotherapy in Patients with Unresectable Stage III Non-small Cell Lung Cancer	Sekine I	19 Lung and Mediastinum
Ann Thorac Surg	Multiple lung adenocarcinomas showing ground-glass opacities on thoracic computed tomography	Tsushima Y	19 Lung and Mediastinum
Journal of Thoracic Oncology	Treatment of Choice for Stage I Non-small Cell Lung Cancer: Surgery or Radiotherapy?	Asamura H	19 Lung and Mediastinum
Br J Cancer	EGFR mutation status in tumour-derived DNA from pleural effusion fluid is a practical basis for predicting the response to gefitinib	Kimura H	19 Lung and Mediastinum

Mod Pathol	Histopathological criteria for additional treatment after endoscopic mucosal resection for esophageal cancer: analysis of 464 surgically resected cases	Eguchi T	20 Esophagus
Br J Surg	Extranodal metastasis is an indicator of poor prognosis in patients with gastric carcinoma	Etoh T	21 Stomach
Gastric Cancer	Metachronous gastric cancers after endoscopic resection: how effective is annual endoscopic surveillance?	Nakajima T	21 Stomach
Gastric Cancer	Follow-up of gastric cancer: a review	Whiting J	21 Stomach
Lancet Oncol	Left thoracoabdominal approach versus abdominal-transhiatal approach for gastric cancer of the cardia or subcardia: a randomised controlled trial	Sasako M	21 Stomach
Int J Clin Oncol	Function-preserving surgery for gastric cancer	Katai H	21 Stomach
Gastric Cancer	Detection of early gastric cancer: misunderstanding the role of mass screening	Suzuki H	21 Stomach
Br J Surg	Stage migration caused by D2 dissection with para-aortic lymphadenectomy for gastric cancer from the results of a prospective randomized controlled trial	Yoshikawa T	21 Stomach
Scand J Surg	Early gastric cancer: diagnosis and less invasive treatments	Sano T	21 Stomach
Int J Oncol	Usefulness and clinical significance of quantitative real-time RT-PCR to detect isolated tumor cells in the peripheral blood and tumor drainage blood of patients with colorectal cancer	Iinuma H	22 Colon and Rectum
Jpn J Clin Oncol	Treatment strategy for locally recurrent rectal cancer	Moriya Y	22 Colon and Rectum
Anticancer Res	Allelic status of chromosomes 17p, 18q, 22p, 3p and their clinical usefulness in colorectal cancer	Fujita S	22 Colon and Rectum
Hepatogastroenterology	Surgical outcomes of laparoscopic vs. open surgery for rectal carcinoma—a matched case-control study	Uehara K	22 Colon and Rectum
Jpn J Clin Oncol	A case of resected huge ileocolonic mesenteric liposarcoma which responded to pre-operative chemotherapy using doxorubicin, cisplatin and ifosfamide	Ishiguro S	22 Colon and Rectum
Surg Endosc	Reduction of prolonged postoperative hospital stay after laparoscopic surgery for colorectal carcinoma	Yamamoto S	22 Colon and Rectum
Dis Colon Rectum	The risk of multiple primary malignancies with colorectal carcinoma	Yamamoto S	22 Colon and Rectum
Cancer Chemother Pharmacol	Phase II study of single-agent gemcitabine in patients with advanced biliary tract cancer	Okusaka T	23 Liver, Biliary Tract and Pancreas
JOP	Serum tumor markers for pancreatic cancer: the dawn of new era?	Okusaka T	23 Liver, Biliary Tract and Pancreas
Gastroenterology	Prospective cohort study of transarterial chemoembolization for unresectable hepatocellular carcinoma in 8510 patients	Takayasu K	23 Liver, Biliary Tract and Pancreas
J Gastroenterol	Intraductal tubular carcinoma in an adenoma of the main pancreatic duct of the pancreas head	Itatsu K	23 Liver, Biliary Tract and Pancreas
J Gastroenterol Hepatol	Clinical features of hepatocellular carcinoma that occur after sustained virological response to interferon for chronic hepatitis C	Ikeda M	23 Liver, Biliary Tract and Pancreas
Cancer Sci	Randomized, double-blind, placebo-controlled trial of bovine lactoferrin in patients with chronic hepatitis C	Ueno H	23 Liver, Biliary Tract and Pancreas



Jpn J Clin Oncol	A phase I/II study of combination chemotherapy with gemcitabine and 5-fluorouracil for advanced pancreatic cancer	Okusaka T	23 Liver, Biliary Tract and Pancreas
J Gastroenterol	A modified Japan Integrated Stage score for prognostic assessment in patients with hepatocellular carcinoma	Ikai I	23 Liver, Biliary Tract and Pancreas
Ann Surg	One hundred two consecutive hepatobiliary resections for perihilar cholangiocarcinoma with zero mortality	Sano T	23 Liver, Biliary Tract and Pancreas
Cancer Sci	Randomized phase II study of concurrent and sequential rituximab and CHOP chemotherapy in untreated indolent B-cell lymphoma	Ogura M	25 Hematology
Blood	Myeloablative allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for non-Hodgkin lymphoma: a nationwide survey in Japan	Kim SW	25 Hematology
Am J Hematol	Abdominal pain and syndrome of inappropriate antidiuretic hormone secretion as a manifestation of visceral varicella zoster virus infection in a patient with non-Hodgkin's lymphoma	Ohara F	25 Hematology
Cancer Sci	Development and progression of urothelial carcinoma	Kakizoe T	26 Urology
Nat Clin Pract Urol	Genetic alterations in bladder cancer and their clinical applications in molecular tumor staging	Sugano K	26 Urology
Gynecol Oncol	The safety and efficacy of the weekly dosing of irinotecan for platinum- and taxanes-resistant epithelial ovarian cancer	Matsumoto K	27 Gynecology
Proteomics	Proteomic signatures corresponding to histological classification and grading of soft-tissue sarcomas	Suehara Y	28 Orthopedics
Ann Nucl Med	Bilateral adrenal gland metastasis from malignant fibrous histiocytoma: value of [F-18]FDG PET-CT for diagnosis of occult metastases	Kobayashi E	28 Orthopedics
J Cancer Res Clin Oncol	Tumor-marker analysis and verification of prognostic models in patients with cancer of unknown primary, receiving platinum-based combination chemotherapy	Yonemori K	31 Miscel laneous
Jpn J Clin Oncol	Pharmacokinetics and pharmacodynamics of weekly epoetin beta in lung cancer patients	Fujisaka Y	31 Miscel laneous

小計13

合計188

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。  
2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	総長 廣橋 説雄
管理担当者氏名	庶務第一課長 弓削 智夫・医事第一課長 朝日 高子 薬剤部長 山本 浩史

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		運営局庶務第一課 ・医事第一課	カルテ、エックス線写真とも入院、外来を含め一患者一ファイル方式として管理している。 (1)診療録等は永久保存 (2)内視鏡フィルム、10年 (3)フィルム(内視鏡フィルムは除く)5年 (4)病理、細胞診プレパラート20年
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	運営局庶務第一課	
	高度の医療の提供の実績	運営局医事第一課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	がん対策企画課	
	高度の医療の研修の実績	がん対策企画課	
	閲覧実績	運営局医事第一課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	運営局医事第一課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	運営局医事第一課 薬剤部	
確保規則の第9条の2及び第11条各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理室	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療安全管理室	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理室	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理室	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	運営局長
閲覧担当者氏名	庶務第一課長 弓削 智夫・医事第一課長 朝日 高子
閲覧の求めに応じる場所	庶務第一課及び医事第一課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	99.7%	算定期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日
算出根拠	A:紹介患者の数		8,698人
	B:他の病院又は診療所に紹介した患者の数		6,552人
	C:救急用自動車によって搬入された患者の数		365人
	D:初診の患者の数		9,113人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 1 条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> (1名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> (1名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 所属職員： 専任 (2) 名 兼任 ( ) 名 ・ 活動の主な内容： 医療安全管理に関する実態把握、情報の収集・分析・提供・職員の教育等	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 指針の主な内容： 医療事故等を防止し安全かつ適切な医療の提供体制を確立することを目的とし、医療安全管理規程及び医療安全管理委員会等の組織を設置し、医療事故等事例の報告内容の検討伝達等を実施している。またその対策をまとめた「医療安全管理マニュアル」を作成し、常に携帯し業務を支障がないよう徹底している。	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
・ 活動の主な内容： 各検証部会の作業業務の報告を行い、その具体策を検討及び検証等を行っている。決定事項はリスクマネージャーが所属職員に周知している。	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 4 回
・ 研修の主な内容： 外部からの専門講師及び院内医療事故防止対策委員会委員を招き、医療事故を防ぐための講演を実施している。また、院内教育研修広報部会企画により、「ヒヤリハット劇場」を年 2 回開催し、安全対策について学習した。	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( <input checked="" type="checkbox"/> ・無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 情報の収集・分析・事例の共有等その結果の周知徹底、研修全員参加に向けた広報等	